

かけはし

2017(平成29)年
3月号 No.129



こくさいゆうこうきねんとしよかん
国際友好記念図書館

〒801-0853 北九州市門司区東港町
1-12
TEL 331-5446 FAX 331-5428
北九州市立図書館 HP アドレス

今月の特集



アジアの 伝説

アジアで代々語り継がれている伝説の中から、今回は伝説の生き物をご紹介します。

伝説の生き物たちは、人々に神のように崇められたり、あるいは恐れられたりしながら、現代まで伝えられてきました。

アジアには、どのような伝説の生き物がいるのでしょうか？

リゅう 龍

中国神話では、龍は鳳凰、麒麟、亀とあわせて四霊獣の一つとして、崇められています。鱗のある生き物の長であり、一般的には、蛇のように長くて鱗の生えた首、トカゲのような脚の付いた胴体、鱷のような鉤爪を持つとされています。普段は水中に住んでいますが、時には天に昇り稲妻を放ったり、雨を降らせたりするといわれています。

「龍と人の文化史百科」 池上正治：著

「龍と蛇」 那谷敏郎：文、大村次郷：写真

トッケビ

韓国で最も身近で知られている妖怪。頭に角が生えており、「パンマイ」という打てば何でも出てくる不思議な金棒を持っていて、話によってトッケビの姿はそれぞれ異なっています。トッケビはいたずら好きですが、正直で善良な人には福を与え、意地悪で欲深い人には罰を与えるといわれています。

「民話で知る韓国」 ちょん・ひょんしる：著

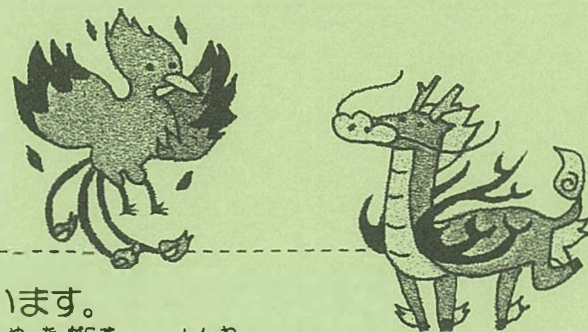
「さびしがりのトッケビ」 ハン・ビョンホ：作・絵

さんそくう 三足鳥

中国神話に登場する鳥。その名の通り、足が三本ある鳥で、太陽に住むといわれています。世界遺産でもある高句麗壁画にも三足鳥が描かれています。日本にも、三足鳥である「八咫鳥」の神話があります。

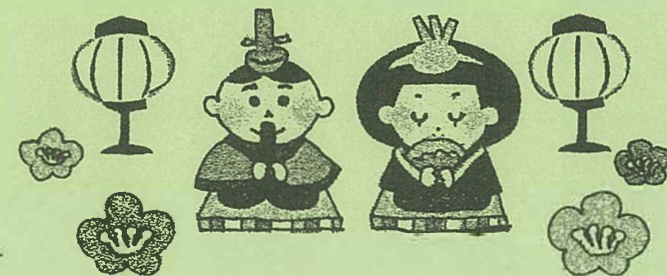
「中国の伝承曼荼羅」 百田弥栄子：著

「世界遺産高句麗壁画の旅」 全浩天：著



門司港レトロひな祭り
期間：2月4日(土)～3月5日(日)

国際友好記念図書館1階エントランスに
おひなさまを飾っています。
レトロ地区各施設にも展示されています
ので、ぜひご覧ください。



3月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

■はおやすみの日です。

ほかの としよかんとは
おやすみの日がちがうことがあります。
お気をつけください！